学校番号	3024

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ２年	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　古文編」・「精選古典Ｂ　漢文編」（東京書籍）						
副教材等	「新国語便覧」（大修館書店）・「必携古典文法」（明治書院）・「体系漢文」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生は１年次に学習した基本的な古典文法・漢文句法をさらに深く理解し、語彙を増やしつつ古典を読み解く力を高めていく時期です。
・様々な古典作品を文法・句法に基づき正確に読解していきましょう。そして作品に表れる思考と情感を的確に捉えていきましょう。
・古典文学には人間の普遍的な感性や知恵があふれています。それを通して自身の見識をより深いものにしてくれることを期待しています。また、グローバルリーダーとして、我が国の伝統や文化に関する理解・知識を深め、世界に発信できる力を身につけましょう。
・予習として本文を真剣に読み込み、下調べをしてきてください。また、授業後の復習も充実させてください。それらの取り組み方次第で、１年次に身につけた基礎がどこまで発展するかが大いに変わってきます。能動的な学習が必要です。

2　学習の到達目標

・古典作品を読みときながら、用いられる語句や文法・句法を理解し、文章を正確に読解する力を養う。
・学習する古典作品を通して伝統的な言語文化に対する興味関心を深め、豊かな感性を培う。
・言語文化を歴史の中に位置づけ、人の営みというものを尊重する態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を正確に読み解くことで、そこに表現されている思想や感性を理解し、伝統的な言語文化に興味をもって向き合っている。			古典の文章を的確に読み取り、それをもとに視野を広げて自己の見識を発展させている。	古典文法や句法・語彙や当時の生活などについて理解を深め、必要な知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	物語1	教材; 『伊勢物語』 「渚の院」 『大和物語』 「姨捨」	○			◎	○	a秀逸な歌物語の美しさを味わおうとしている。 d作中人物の複雑な心情を的確に読み取っている。 e和歌の修辞法・助動詞の識別などの古典文法を理解している。	a; 行動の観察と分析 d・e; 記述の確認及び定期考査
	随筆1	教材; 『枕草子』 「すさまじきもの」 「中納言参り給ひて」	○			◎	○	a作品に表れる作者の機知を味わおうとしている。 d平安時代の宮中の様子や人物の関係について的確に把握している。 e敬語法について確実に理解している。	a; 行動の観察と分析 d・e; 記述の確認及び定期考査
	小話	教材; 『十八史略』 「先従隗始」 『世説新語』 「漱石枕流」	○			◎	○	a現代に伝わる言葉の故事を理解しようとしている。 d文章の論理的構成を読み取っている。 e重要句形や漢文特有の語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d・e; 記述の確認及び定期考査
	随筆2	教材; 『徒然草』 「花は盛りに」	○			◎	○	a作者の感じ方や見識に触れ、その魅力を捕らえようとしている。 d作者の無常観や美意識がどのように作品に表れているかを読み取っている。 eその時代のあり方や作者の思想を理解し、語彙を把握している。	a; 行動の観察と分析 d・e; 記述の確認及び定期考査
	史記1	『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	○			◎	○	a登場人物の行動を通して、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 d長文を読み込んで典型的な人物像をそこに見出し、自分なりの解釈をしようとしている。 e『史記』について、重要句形や語彙について理解している。	a; 行動の観察と分析 d・e; 記述の確認及び定期考査

2学期	日記1	教材; 『更級日記』 「門出」 「物語」	○			◎	○	a日記文学の特色を理解しようとしている。 d作者の物語への憧れや夢を的確に読み取っている。 e仮名文の日記が生まれた背景や作中の古典文法を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	詩1	教材: 『唐詩三百首』 「鹿柴」 「黄鶴楼」	○			◎	○	a詩人たちの人生観や自然観についての認識を深めようとしている。 d唐代の詩を繰り返し音読して漢詩特有の規則や修辞に習熟し、表現についての理解を深めている。 c詩の形式や技法について理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	詩歌	教材: 『古今和歌集』『新古今和歌集』『拾遺和歌集』『後拾遺和歌集』『金葉和歌集』『金槐和歌集』	○			◎	○	a和歌に読み込まれた情景や心情を理解しようとしている。 dそれぞれの和歌の豊かな風情を味わっている。 e修辞技法などを理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	文1	教材: 『古文真宝後集』 「春夜宴桃李園序」	○			◎	○	a名文が語りかけるその時代の思想の典型に関心を深めている。 d作中に現れる人生観や詩観を理解している。 e既習の句法を整理して理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	物語2	教材; 『大鏡』 「道長、伊周の競射」	○			◎	○	a『大鏡』の構成と内容、歴史物語としての特色を理解しようとしている。 d登場人物の人間関係とその行動や心理を捉え、人物や事件についての作者の考え方を的確に読み取っている。 e敬語法について整理し理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	思想1	教材; 『孟子』 「性之善也、猶水之就下」 『荀子』 「人之性悪」	○			◎	○	a春秋戦国時代の思想を代表する文章を読み、それぞれの思想の特徴を捉えようとしている。 dそれぞれの思想を理解した上でそれについての考察を深めようとしている。 e春秋戦国時代の思想の潮流を理解している。句法･語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査

3学期	物語2	教材; 『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「若紫」	○			◎	○	a 優れた物語文学を読み、登場人物の心情やものの考え方などを読み取ろうとしている。 d それぞれの場面の状況やそれに付随する登場人物の心理を的確に読み取っている。 e 源氏物語を頂点とする中古の文学への知識や物語の文化的背景について理解を深めている。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査
	思想1	教材; 『老子』 「人之生也、柔弱」 『荘子』 「曳尾於塗中」	○			◎	○	a 春秋戦国時代の思想を代表する文章を読み、それぞれの思想の特徴を捉えようとしている。 d それぞれの思想を理解した上でそれについての考察を深めようとしている。 e 春秋戦国時代の思想の潮流を理解している。句法・語彙を理解している。	a; 行動の観察と分析 d･e; 記述の確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については全ての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付けている。